

「忍岡中学校教育目標」

「明るく楽しい学校」「安全で規律ある学校」「保護者・地域から信頼される学校」を実現し、本校の伝統の教育理念である清純・忍耐・進取を内容とする「白梅精神」の高揚を目指して、次の目標を定める。

- 根気よく心身を鍛える
- 深く考えくふうする
- 思いやりの心をもつ

幅広い学力

- 授業規律(スタンダード)の徹底
- 基礎・基本の確実な定着
- 習得した知識・技能の活用
- 学ぶ意欲の育成

豊かな人間性

- 思いやりの心と互助共生の精神
- 高い規範意識と自主自律
- 良好な人間関係を構築できる力
- 自身の得意を生かした自己実現

健康や体力

- 健全な生活習慣の確立
- 安心・安全な環境の整備
- 健康の保持増進と体力の向上
- 望ましい食習慣の形成

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○ 学校教育の基本

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- 思考力、判断力、表現力等の育成
- 他者と協働して物事を進められる力の育成
- 高い志をもち、社会に貢献しようとする態度の育成
- 規範意識の高揚
- 全ての学習の基盤となる汎用的な能力

何が身に付いたか

○ 学習評価を通じた学習指導の改善

- 生徒自身が自らの学びを振り返ることができる機会の設定(授業内における学習の振り返りの実施、定期考査後や学期末の振り返り、eライブラリの活用)
- 学習状況を的確に把握する評価方法の工夫
- 多様な学習活動を対象とした多面的・多角的な評価
- 学習評価を通じた学習指導の改善

生徒の実態

- 学習全般に関する意欲が高く、学習規範をもった生徒が多い。
- 集団における習熟の程度の差が大きい状況にある。
- 自己肯定感や主体的に学ぼうとする意欲が低い生徒が一部にいる。

生徒の発達をどのように支援するか

○ 配慮を必要とする子供への指導

- SCや支援員、巡回指導教員、外部関係機関等を活用した、特別な支援が必要な生徒や不登校生徒への適切な援助
- 日本語指導が必要な生徒への指導員による語学指導の実施と音声翻訳機の活用

目指す生徒像

- 高いところごしをもち、どのような困難があっても自らの将来を生き抜こうとする生徒
- 社会に貢献しながら、何事にも全力で取り組むことで把握した自身の持ち味を生かそうとする生徒

何を学ぶか

○ 教育課程の編成

- 各教科の基礎的・基本的内容の確実な定着を目指した、余裕ある授業時数の確保
- 答えが一つではない課題による、議論する道徳の実践
- 基礎的・汎用的能力を育む授業の実践

どのように学ぶか

○ 教育課程の実施

- 学校行事の精選等による授業時数確保の工夫
- 学習進路指導部・道徳教育推進教師による組織的な推進体制の構築
- 各教科の授業におけるキャリア教育の実践

実施するために何が必要か

○ 指導体制の充実、家庭・地域社会との連携・協働

- 学校評価(教員対象、保護者対象)の結果を踏まえた「具体的な改善の方向性」の策定と明示
- 一人一案研究授業による校内研究の充実、タブレット端末の効果的な活用、「授業における心構え7」等の実践
- 学校公開週間等におけるアンケートの実施及び結果の周知、年3回の学校運営連絡協議会の活用
- 部活動指導員、部活動実技指導補助員を効果的に活用した部活動指導体制の安定化・国立教育実践推進センターとの連携

安心・安全を守る

- いじめ防止基本方針の策定と運営
- 年間計画に沿った避難訓練等の実施と工夫改善
- 関係諸機関との連携による安全対策の充実
- 安全点検(部活動・施設)の実施と安全への意識向上
- 感染症に対する徹底した衛生管理と対応策の工夫

開かれた学校(園)作り

- 学校公開、日曜授業参観、学校説明会の充実
- 来校者対象アンケートの実施
- 学校ホームページにおける情報発信の充実(学校ブログ等の活用)
- 学校運営連絡協議会の開催及び学校評価の実施